

2017年度第1回日本語教育研修会実施報告

矢崎満夫（日本台湾交流協会台北事務所）

1. 実施場所・日時

- (1)台北:gis 台湾大学コンベンションセンター:2017年6月17日(土)13:30~17:00
- (2)台中:国立台中科技大学:2017年6月18日(日)13:30~17:00
- (3)高雄:実践大学高雄校区高雄市教学中心:2017年6月24日(土)13:30~17:00

2. 研修テーマおよび内容

(1)テーマ

アニメの魅力を生かした新しい日本語教育ー「日本語を使っていかに楽しむか」ー

(2)内容

- 1)新しい考え方に基づく、アニメを素材とした日本語学習手法に関する講義(映像資料あり)
- 2)オリジナルアニメ作品をもとにしたストラテジー(アニメを日本語授業に生かすための活動のアイデア)の紹介(グループワークによる活動体験の実施)

3 研修会を終えて

研修後のアンケート結果において、参加者から数多くの肯定的意見をいただくことができた。以下、主なコメントを紹介したい。

- ・次の授業ですぐに使ってみたいという気持ちになれる。実際に使える内容でよかったです。学習者の視点で活動できて、勉強になった。
- ・日本語教育現場に非常に役に立ちます。
- ・今日の授業はとても面白かったです。高校生の会話の授業でやってみようと思っています。
- ・先生が自分のアニメを見本として説明なされた内容は分かりやすく、面白かったです。
- ・正しい日本語ではなく楽しい日本語を勉強しようという事に大変同意いたします。
- ・今までアニメで、日本語を学ぶ、つまりその中から表現や語いをとりあげて学ばせることに非常に疑問を持っていました。今日のお話を伺って、その疑問がとけていった気がしました。この考え方で、アニメだけではなく他の学生が興味のある内容(本とか、映画とか)も扱えそうだと思います。
- ・アニメを生かすアイデアはすばらしいと思います。特に日本語教育に対して、いろんな方法があったらいいなと思います。あそびながら、勉強するのは一番です。
- ・「下からの道」という教材づくりの理念はとてもいいと思います。今回の研修をきっかけとして、「日本語表現能力」ってどんなものなのか、深く考えさせられて、研修に参加できてよかったです。

4. 今後に向けて

どの市においても、「続きの研修会を楽しみにしている」「今日聞けなかった部分が聴きたい」という複数の意見をいただけた。今後は人気アニメ作品を使用した続きのワークショップや、今回提示できなかった他のストラテジー紹介を行うとともに、どのようにそれらを利用して日本語授業を組み立てていくかというコースデザインのあり方にも言及した内容を提供したいと考える。